

令和8年度 シラバス（歴史総合）

学番29 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校

教科	科目	単位数	教科書名	副教材名等
地理歴史	歴史総合	2	歴史総合 近代から現代へ（山川出版社）	新詳歴史総合（浜島書店）

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	①コミュニケーション能力と自分で課題を発見し解決する能力を育成します。 ②各系列において必要な、基礎・基本の学力の習得を目指し、将来の進路実現に繋げる生徒の育成を目指します。 ③個性を生かし、各系列で創意工夫や発想力を活かし、豊かな感性で新しいものを生み出せる生徒を育成します。 ④社会の発展に貢献しようとする大きな志を持って、主体的に地域の生活を創造できる能力を持つ生徒を育成します。 ⑤自己を管理する力を持ち、他者への思いやりや、協働ができ、市民としての社会的責任を自覚する勤勉な態度の生徒を育成します。
カリキュラムポリシー	① 地域社会と積極的に連携し、協働する力や社会に役立つとする意識を育成します。 ②「系列」に応じた様々な選択科目を設置し、生徒一人一人が主体的に興味・関心を広げ、力を伸ばす多様な選択を可能にします。 ③各系列での基礎学力の向上を目指し、卒業までに高い専門性を身に付けさせます。 ④各学年における探究的な学習活動や体験学習、教科横断的な学習により、深い学びを実践していきます。 ⑤各系列の多様な価値観や個性を持つ生徒との協働的な学びのフィールドを展開することで、他者を受容し開かれた自己を確立し、人間関係を築く力を育てます。

2 学習目標

到達目標、 具体的な取り組み 及び留意点	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。 （１）近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 （２）近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察する力や、歴史に見られる様々な課題を解決にむけて構想する力を身につけようとする。またその考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身につけるようにする。 （３）近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けようとする。また、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めるようにする。
授業形態及び 履修条件等	2年次必修科目

3 指導の重点

- ・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- ・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明する力を身に付けるようにする。
- ・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

4 評価の観点の趣旨

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身につけている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身につけるとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。

5 評価方法

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
以上の観点を踏まえ、定期考査・提出物・授業への取り組みなどを考慮して総合的に評価します。	以上の観点を踏まえ、定期考査・提出物・授業への取り組みなどを考慮して総合的に評価します。	以上の観点を踏まえ、提出物・授業への取り組みなどを考慮して総合的に評価します。

6 学習計画

月	指導単元	指導内容	考査及び評価方法	時数	評価のポイント
4	第Ⅰ部 近代化と私たち 第1章 結びつく世界	1 アジア諸地域の繁栄と日本 2 ヨーロッパにおける主権国家体制の形成とヨーロッパ人の海外進出	第1回考査	5	考査の点数 課題提出 ノート提出
5	第2章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	1 ヨーロッパ経済の動向と産業革命 2 アメリカ独立革命とフランス革命 3 19世紀前半のヨーロッパ 4 19世紀後半のヨーロッパ 5 19世紀のアメリカ大陸 6 西アジアの変容と南アジア・東南アジアの植民地化	第2回考査	7	考査の点数 課題提出 ノート提出 授業の取組
6	第2章 近代ヨーロッパ・アメリカ	7 中国の開港と日本の開国		7	

	カ世界の成立 第3章 明治維新と日本の立憲体制	1 明治維新と諸改革 2 明治初期の対外関係 3 自由民権運動と立憲体制			
7	第4章 帝国主義の展開とアジア	1 条約改正と日清戦争 2 日本の産業革命と教育の普及 3 帝国主義と列強の展開 4 世界分割と列強の対立 5 日露戦争とその影響	第3回考查	7	考查の点数 課題提出 ノート提出
9	第Ⅱ部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第5章 第一次世界大戦と大衆社会	1 第一次世界大戦とロシア革命 2 国際平和と安全保障 3 アジア・アフリカ地域の民族運動 4 大衆消費社会と市民生活の変容 5 社会・労働運動の進展と大衆の政治参加		8	
10	第6章 経済危機と第二次世界大戦	1 世界恐慌の発生と各国の対応 2 ファシズムの台頭 3 日本の恐慌と満州事変 4 日中戦争と国内外の動き 5 第二次世界大戦と太平洋戦争	第4回考查	7	考查の点数 課題提出 ノート提出 授業の取組
11	第7章 戦後の国際秩序と日本の改革 第Ⅲ部 グローバル化と私たち 第8章 冷戦と世界経済	1 新たな国際秩序と冷戦の始まり 2 アジア諸地域の独立 3 占領下の日本と民主化 4 占領政策の転換と日本の独立 1 集団防衛体制と核開発 2 米ソ両大国と平和共存		7	
12	第8章 冷戦と世界経済	3 西ヨーロッパの経済復興 4 第三世界の連携と試練 5 55年体制の成立 6 日本の高度経済成長 7 核戦争の恐怖から軍縮へ		7	
1	第8章 冷戦と世界経済	8 冷戦構造のゆらぎ 9 世界経済の転換 10 アジア諸地域の経済発展と市場開放	第5回考查	7	考查の点数 課題提出 ノート提出 授業の取組

	第9章 グローバル化する世界	1 冷戦の終結と国際情勢 2 ソ連の崩壊と経済のグローバル化			
2	第9章 グローバル化する世界	3 開発途上国の民主化と独裁政権の動揺 4 地域紛争の激化 5 国際社会のなかの日本		6	
3	第10章 現代の課題	1 現代世界の諸課題 2 現代日本の諸課題		2	課題提出

計 70 時間(50 分授業)

＊生徒の進路・関心を配慮しながら、各担当者が重点を置く単元を選択する場合もある。

7 課題提出物等

- ・定期考査ごとに課題を提出。
- ・定期考査ごとに板書事項をまとめたノートを提出。

8 担当者からの一言

主体的に授業に取り組み、多くの歴史的事象に興味を持つことが大切です。そして、日本だけではなく、各国の視点で歴史や政治、経済、文化を総合的に見ていきましょう。